

NTT東日本 関東病院 看護職員募集案内

NTT Medical Center Tokyo | NURSE GUIDE

One for All,
All for One

One for All, All for One

One for All,
All for One

看護師としての成長を支える、
理想的な環境がここに 있습니다。

「患者さんにとって良質な医療」を追求し、
提供し続けていくことが私たちの務め。
そのためには医療現場の最前線にいる
看護師の能力を最大限に引き出し、
一人ひとりの可能性を広げていくことが大切であると
私たちは考えています。

当院では国際基準を満たした
医療環境を整えるとともに、
看護師のキャリアを中長期的に見据えた
教育プログラムを体系化しています。
また、私たちが長年にわたって培った知見を
皆で共有し、互いにサポートし合うことで、
人を大切に育てる環境を構築しました。

あなたの可能性を、ここで存分に伸ばしてください。
私たちは新しい仲間を精一杯サポートしていきます。

看護部の 理念

看護部の 教育理念

「実践」「教育研究」「サービス」のつながりを大切に

- 私たちは健康を連続した過程と捉え、あらゆる健康段階にある人々に看護を提供します。
- 私たちは患者さんの満足を目指し、効果性と適切性を備えた看護を提供します。
- 私たちは専門職として質の高い看護サービスを提供するために自己啓発に努めます。
- 私たちは研究活動を通して、よりよい看護実践の探求を続けます。
- 私たちはチーム医療を推進し、ともに働く人々の職務満足向上に尽くします。

患者さんを全人的（ホリスティック）に捉え、専門的知識や技術を用いた
看護ケアを提供。医療チームのコーディネーターとしてリーダーシップを
発揮できる、自律した看護師の育成を目指しています。

- 各部門の特性をふまえた日常の看護活動の充実（OJT）
- 個人の自己啓発による学習支援活動（研究・研修支援）
- 専門的能力の育成（認定・専門看護師）
- 接遇の向上

One for All, All for One.

ひとりひとは、すべてのために。すべては、ひとりのために

新人として過ごす数年間は、後のキャリアを左右する
大切な時期。より良い環境を選んでください。

新人看護師として働く場所に、当院を選んでほしい理由があります。

看護部長 井手尾 千代美



患者さんの安全と医療の質向上を目指す
世界最高水準のJCI（国際病院評価機構）認定を取得

JCI（Joint Commission International）とは、病院機能評価の国際版ともいえるもの。米国のJCが目指す「患者安全と医療の質の改善」という考え方を、世界基準として各国の医療機関に広めることを目的に誕生しました。当院では2011年3月に、日本で2番目、東京で初の認証取得となり、2014年6月に2回目の認証を取得しました。

1 医療の質と 医療安全の追求

設立以来60有余年の歴史のなかで、当院は職域病院から高度急性期病院へと発展してきました。その間、「患者さんにとって良質な医療」の提供を目指して医療技術をより高めるとともに、医療安全を徹底して追求。2011年にはJCIの認証を取得しました。国際基準を満たした環境で、スキルを高めてください。

2 キャリアアップに関する 教育の充実

看護部には「教育支援開発部門」があり、専属スタッフとして3名を配置。新人看護師への教育はもちろんのこと、その後のキャリアアップを支援しています。また専門看護師や認定看護師、認定看護管理者などの資格をもつ看護師が数多くおり、皆さんの良きモデルとなる人材がそろっています。

3 成長を支援する 理想的な労働環境

当院の看護師はNTT社員としての就業規則や諸制度に則って勤務しています。多忙な業務に携わりながら、継続的な能力開発が求められる看護師にとって、労働環境はとても重要。私たちは恵まれた労働環境を今後もさらに改善し、看護師が自らを成長させながら長く働き続けられる環境を構築していきます。

患者さんにとって、真に良い看護を—— 人と人が心をつなぐ看護を実践しています。

私たちが大事にしている取り組み

- ◎ 安全な医療の提供：患者誤認防止、転倒転落防止、感染管理
- ◎ つなぐ看護：入院前から病棟へ、病棟から病棟へ、病棟から外来へ
～入院前から退院後まで、患者のゴール達成に向けた看護実践をつなげる～
- ◎ おこなっている看護を評価し、常により良い看護を実践していく
- ◎ 多職種の専門性を活用してケアに取り入れる（チーム医療を通じて、より良い看護を実践する）

個々に状態が異なる患者さんの疾患を深く理解し、必要とされる処置を
広い視野で検討して最適なケアを提供するために、チーム医療はとても重要。
私たちは個と個の力をつなぎ、患者さんにとって真に良い看護を提供し続けていきます。

チーム医療を通じて、より良い看護の実践を

多職種のメンバーが患者さんの目指すゴールを共有し、各々が専門的なアセスメントを行ないながら、それを統合させて質の高いチーム医療を実践していく。そのように組織としての力を最大限に引き出すことで、私たちは良質な看護を生み出しています。
一人ひとりが高度な専門知識をもつ医療人として、知識と技術をさらに研鑽し、その成果を結集することで、私たちは今後もさらにチーム力を高めていきたいと考えています。



チーム全員で情報を共有し、スムーズに
退院できるよう支援しています。

病棟看護師

佐藤 泰史

脳神経外科、脳卒中センター、脳神経内科、てんかんセンター / 写真左

退院支援看護師

原田 富子

総合相談室 / 写真右

佐藤 日々、患者さんと病棟で接するなかで、日常的な動作を確認したり、ご自宅での生活について伺うことも、病棟看護師の大切な役割。そのようにして得た情報を、退院支援看護師をはじめとするチームの皆と共有しながら、患者さん一人ひとりをケアしています。

原田 入院された方のカルテすべてに目を通して、退院が困難になると予想される方の生活環境や、介護保険のご利用状況などを確認。病棟の看護師やリハビリテーションのスタッフ、ソーシャルワーカーと一緒に、患者さんがスムーズに退院できるよう支援しています。



妊婦さんのニーズに応え、より良い
環境をつくるために協働しています。

助産師

今井 咲

産婦人科 / 写真右

母性看護専門看護師

長坂 桂子

看護部 / 写真左

今井 妊娠、分娩、産後を通じて、特にケアの必要性が高い方の情報を共有し、相談しながら、妊婦さんをサポートしています。ケアの質を高めるうえで、また将来のキャリアを考えるうえでも、いつも様々なアドバイスをいただき、とても感謝しています。

長坂 妊婦さんの不安や困難に寄り合い、助産師と一緒に支援しています。また妊婦さんのニーズをくみ取り、それを病院の運営に反映するためのプランを考えることも私の役割の一つ。そのためにも妊婦さんの声に耳を傾け、現場の声を収集しています。



患者さんの状態を伝え合って、
きめ細かくサポートしています。

病棟看護師

村垣 なつみ

整形外科 / 写真左

理学療法士

首藤 哲也

リハビリテーション科 / 写真右

村垣 リハビリテーションをしていると、患者さんは病棟にいるときとは違う角度から、家庭での生活について話をされることがあります。そうした情報を知っていると、患者さんをよりきめ細かく支援できるので、理学療法士の方とは頻繁に情報交換しています。

首藤 入院中はもちろん、退院後までの生活全般をデザインしたうえでリハビリテーションを行い、患者さんの運動能力の回復を支援しています。患者さんの病棟での様子は、回復レベルを把握するための大切な情報なので、看護師と綿密に連絡をとり合っています。



医師と看護師が同じ目標に向かい、
二人三脚で医療の質を高めています。

看護師

神林 まり子

内視鏡センター / 写真左

医師

大圃 研

内視鏡部 / 写真右

神林 看護師として、消化器内視鏡技師を取得し、検査や治療の流れ、医療装置の使い方などを深く理解しながら、看護することで仕事の質は向上します。チーム力を高めるために、ふだんから医師とのコミュニケーションを大切にしています。

大圃 当院内視鏡センターの実績は、全国的に高く評価されています。そうした評価を支えているのが、質の高いチーム医療。医師と看護師が互いの仕事の領分を深く理解し、上手く連携して検査や治療に取り組むことで、高い水準の医療を提供しています。

助け合い、支え合い、ともに成長できる 新人看護職員研修プログラムです。

教育支援開発部門の専任看護師3名が、新人教育を始めとした院内教育を支援します。
各部署に教育関連担当者を配置し、連携を取りながら患者さんを主体に考える看護を目指しています。

新人看護職員研修（3ヵ月／約13週間）

技術を着実に習得できる循環型の研修



教育目標

質の高い看護実践ができる「プライマリナース」として、自立していくために必要な実践能力を身につけます。

- ◎ 看護過程にそって、看護ケアを実践できる能力を身につける
- ◎ リーダーシップ能力を身につける
- ◎ 教育研究能力を身につける
- ◎ 社会人としての自覚をもち、責任ある行動ができる

継続教育および教育体系

看護基礎教育を基盤とし、個々の成長段階に応じた継続教育を行っています。自己啓発およびキャリア開発ができるよう支援しています。

院内集合研修	教育体系に基づきステップ別に受けます。
OJT(部署教育)	各職場単位での育成計画に基づき、必要な学習会を行います。
臨床講演会	看護部および病院主催の臨床講義や講演会が開催されます。
看護研究発表会	年1回看護研究発表会が開催されます。
院外研修	各種の学会や看護協会主催の研修会その他の研修会に参加できます。

新人看護職員の年間スケジュール



看護研修4つの柱

看護の基盤づくり

医療安全の徹底

基礎看護技術の充実

職場適応の促進と
精神的支援の充実

やってみて！考える！
みんなで作るカンファレンス(CF)が好評です。



一人ひとりの成長を中長期的に見据えて、 継続的に成長できるプログラムを編成。

看護師としての成長を中長期的に見据えて、プログラムを体系化し、各自が目指す看護師像が明確になるように促す——。
一人ひとりが自分らしく成長し、看護のプロとして自立できるよう、私たちはサポートしています。

院内研修（ステップ研修）の概要

STEP IV

院外での研修および部署教育（OJT）が中心のプログラムです。学会・研修会の助成制度が整っており、各自の方向性に合わせて受講することができます。

STEP III

プライマリーナースとしての自立を目標とするステージです。がん看護コース、急性期看護コースなどの専門性を高める研修や、看護研修などを通してスキルを研鑽していきます。

STEP II

2～3年目の職員を対象とした研修プログラムです。集合教育（Off-JT）と部署教育（OJT）の両面から臨床実践能力を養成。看護師としての倫理観を基盤として、急変時の看護や領域別看護、看護過程の展開といった実践的な内容を学ぶほか、医療安全の徹底を重視したプログラムになっています。

STEP I

新入社員を対象とした1年間の研修プログラムです。

看護管理コース

特定分野コース

一般看護コース

STEP IV

自己の方向性決定と探求、看護の質の向上への貢献

STEP III

プライマリーナースとしての自立

STEP II

アソシエートナースとしての自立

STEP I

アソシエートナースとしての能力獲得

臨床能力

情報収集・
アセスメント
計画・実施・評価

教育研究能力

自己啓発・
教育指導
研究

リーダーシップ能力

対人関係・
問題解決能力・
管理能力

看護倫理

臨床実践能力3つの柱

臨床実践能力 修得段階モデル

看護師が臨床経験を積み重ねながら成長していく過程を段階的・継続的に行動目標を示したモデルです。STEPⅢ（プライマリーナースとして 自立）を修得あるいは修得後、各自、自分の進む方向を決めていきます。

看護師の向上心を応援する制度がしっかり整っています。

それまでのキャリアを活かしてより高いレベルの仕事に携わりたい。専門性をさらに高めたい。そうした思いに応えるため、当院では様々な認定制度や支援制度を多数用意し、スキルアップを目指す人や、能動的にキャリアデザインしたい人を支援しています。そのため当院では、将来の可能性を自ら広げた看護師たちが多数活躍しています。

認定取得サポート

院内認定制度

看護師が、認定を受けられる院内資格には以下のものがあります。

主な院内認定制度

- ◎ 静脈注射認定者
- ◎ BLS 認定者
- ◎ ICLS インストラクター
- ◎ 医療安全推進者

院内支援制度

自己啓発支援には以下のような支援があります。

主な院内支援制度

- ◎ 学会加入制度
- ◎ 学会・研修会参加支援
- ◎ 認定看護師資格取得支援

NTT 東日本の支援制度

- ◎ 部外資格取得支援
- ◎ その他（各種通信教育支援）

専門・認定看護師の活動



がん性疼痛看護 認定看護師

看護部 松浦 れい子

学んだことを還元し、
当院の看護力をさらに高めます

がん性疼痛に関する最新の知識を活かして、薬物療法の適切な使用・管理・評価を行えるよう、スタッフに助言することが私の役割。入院中から退院後までを見据えて、どうしたら患者さんの痛みを軽減でき、より快適に過ごせるかということをサポートするために、院内各科で横断的に活動しています。院内で勉強会を開いたり、講師を任される機会も増えましたが、そうした場で得た知識を還元して、当院看護師の力をさらに高めるための教育や、体制づくりに貢献したいと思っています。



皮膚・排泄ケア 認定看護師

看護部 近藤 晃代

専門的な知識と技術を、
病院の内外で多くの人に伝えたい

褥瘡（床ずれ）や創傷（きず）、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）、失禁などによる排泄管理や患者さんやご家族の自己管理およびセルフケア支援に関する業務に携わっています。褥瘡管理者という立場から、入院・外来患者さんの褥瘡に関わって、スタッフから相談を受けたり、対策を講じています。また、院内で勉強会を開き、皮膚・排泄ケアに関する知識や技術をより充実させることを目指していますが、いずれは院外の啓蒙活動にも取り組みたいと思っています。



感染管理認定看護師

感染対策推進室 縣 智香子

感染リスクをアセスメントし、
リスク低減のために活動しています

医療現場で発生する感染から、患者さんやご家族、医療従事者の身を守ることが感染管理認定看護師の任務。病院に訪れる全ての人にとって安全な医療環境を提供するために、院内内外の感染症発生状況を把握し、感染対策のルールを作り、スタッフへの指導、相談を行っています。感染の発生状況だけではなく、手指衛生の実施状況などスタッフの行動もモニタリングすることで、対策の実施状況を評価し、感染リスクが低減するための改善活動を行っています。

ワークライフバランスに配慮し、自分らしく いきいきと働き続けられる環境を整えています。

看護師としての責任を十分に果たしながらも、プライベートを充実させ、家庭や地域生活などで自分らしく輝き続けられる職業人になってほしい。私たちはそのように考え、NTT社員としての就業規則や制度のもと、ワークライフバランスを実現できる労働環境の構築を目指しています。

当院の勤務体制

NTT 東日本の勤務シフトを基準にしてつくった3交替制の勤務体制に一部2交替制勤務を導入し、生活と仕事を両立できるワークライフバランスに配慮した様々な取り組みを行っています。リフレッシュして仕事に励める、自己啓発ができる労働環境の良さが、当院のメリットになっています。

- ◎ 休日の確実な確保やワークライフバランスへの支援
- ◎ 夜勤体制をはじめとする勤務体制の改善
- ◎ 育児のための短時間勤務や育児休暇制度の導入

責任をもって働く。

しっかり休んでリフレッシュ！！

- ・当院の標準的な勤務体制は3交替制です。日勤に引き続く深夜勤、準夜勤務のあとの日勤の設定はありません。
- ・正循環【準夜→深夜】の交替周期となっています。
- ・日勤パターンと夜勤パターンの間に必ず休日が入るように設定されています。
- ・準夜勤の職員には、帰宅の際にタクシーでの宅送を実施しています。

- ◎ 所定内労働時間 37 時間 30 分 / 週平均
- ◎ 450 時間勤務 / 12 週調整
- ◎ 深夜勤時間は 4 週間で一人平均 72 時間以内
- ◎ 週休 2 日制 (4 週に 8 日、12 週に 24 日の割合)

3 交替の 勤務時間

日 勤 8:00～17:00
準夜勤 14:45～23:45
深夜勤 23:00～ 8:30

2 交替の 勤務時間

日 勤 8:00～16:30
夜 勤 16:00～ 9:00
(時間内で2時間休憩)

3 交替と 2 交替の勤務パターン例

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目
3 交替の勤務例	準夜勤	準夜勤	深夜勤(入)	深夜勤(中)	深夜勤(明)	休日	休日	日勤
2 交替の勤務例	日勤	日勤	夜勤(イリ)	夜勤(アケ)	休日	休日	日勤	日勤

福利厚生 NTT 社員としての充実した福利厚生メリットを活用できます。

NTT 東日本を母体とする企業立病院ならではのメリットが多数用意されています。看護職としてキャリアアップしていくことと同じように、ひとりの人間として日常生活を充実させていくことを当院は大切にしています。衣食住を含めた様々な福利厚生が、ON タイムと OFF タイムの自分を強くサポートしてくれます。

看護師寮

当院に隣接して徒歩 1～3 分圏内に、計 3 棟のワンルーム独身寮があります。
(全 226 戸、全個室、冷暖房・バス・トイレ付、35 歳まで対象)

- ◎ 第一青葉寮 (使用料 11,080 円 / 月 1R 24m²、49 戸)
- ◎ グリーンヒル寮 (使用料 11,560 円 / 月 1R 24m²、150 戸)
- ◎ 第三青葉寮 (使用料 11,260 円 / 月 1R 27m²、27 戸)

※アパート等を借りる際には住宅補助費が支給されます。(37,000 円 / 月、毎年 6 月と 12 月に 6 ヶ月分をまとめて支給、45 歳まで対象)



第一青葉寮



グリーンヒル寮



第三青葉寮



看護師 桂川 遥

寮は職場と隣接しているからとても便利。同期の仲間も多数入居しているので心強く感じます！



子育て支援

子育てをしながら仕事が続けられるように、子育て支援制度が充実しています。小学校 3 年生以下の子供を持つ、すべての職員に対する育児のための「短時間勤務制度」を整えています。看護職のキャリアを止めることなく、正社員として続けられるメリットがあります。

- ◎ 育児休職制度 (子供が 3 歳まで)
- ◎ 短時間勤務 (4 時間、5 時間、6 時間) 制度 (子供が小学 3 年まで)
- ◎ 再採用制度 (退職後 3 年以内の再採用制度)

食事補助制度

食堂の利用料金を社員証にチャージすることが出来ます。

- ◎ 7,000 円 / 回 (会社負担 3,500 円 + 自己負担 3,500 円)

当院の食堂メニューは、総カロリー数や栄養素の量も表示されているので、健康に気遣う職員たちの強い味方になっています。



人気のヘルシーメニュー

カフェテリアプラン (選択型福利厚生制度)

レクリエーション(宿泊系、アミューズメント施設、フィットネス等)、健康増進支援、財産形成支援、住宅関連支援などの多彩なメニューを用意。本人のポイント(持ち点)の範囲で希望するものを購入できたり、利用できたりするシステムです。

- ◎ 宿泊施設等 (提携ホテル・旅館ほか約 900 件)
- ◎ アミューズメント施設等 (東京ディズニーリゾートほかレジャー施設約 250 件)
- ◎ フィットネス等 (フィットネスクラブほか約 650 件)





[http : //www.ntt-east.co.jp/kmc/](http://www.ntt-east.co.jp/kmc/)

NTT 東日本 関東病院

〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22

TEL : 03-3448-6111 (代表)